

# 平成24年度病害虫発生予察注意報第3号

平成25年2月4日  
愛知 知 県

作物名：イチゴ

病害虫名：ハダニ類

1 発生地域 県内全域

2 発生程度 多い

3 注意報発令の根拠

- (1) 1月下旬の巡回調査の結果、イチゴにおけるハダニ類の寄生葉率は27.1%（平年11.3%、前年18.0%）、発生ほ場率は85.7%（平年56.3%、前年78.6%）で、過去10年と比較してともに最も高く、甚発生のは場も見られる。
- (2) 平成25年2月1日名古屋地方気象台発表の1か月予報では、向こう1か月の気温は平年より高いと予想されており、ハウス内はハダニ類の発生に適した環境条件が見込まれる。

4 防除上注意すべき事項

- (1) 発生を認めたら、寄生密度が低いうちに下表を参考に防除を行う。
- (2) ハダニ類は下葉の裏に多く寄生しているのので、不要な下葉を除去した後、薬液が葉裏にも十分かかるように丁寧に散布する。
- (3) ハダニ類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一薬剤の連用を避ける。
- (4) 天敵を放飼する場合は放飼前に徹底した防除を行い、すでに天敵を放飼している場合は、下表を参考に影響の少ない農薬を使用する。
- (5) 農薬はラベルの表示事項を守り使用する。

表 イチゴのハダニ類に対する主な農薬

農薬名	希釈倍数	収穫前日数 /使用回数	ミヤコカブリダニ に対する 影響			チリカブリダニ に対する 影響		
			卵	成	残	卵	成	残
スターマイトフロアブル	2000倍	前日/2回	-	-	-	-	-	-
ダニサラバフロアブル	1000倍	前日/2回	-	◎	-	-	-	-
ニッソラン水和剤	2000~3000倍	前日/2回	-	◎	0	◎	◎	0
マイトコーネフロアブル	1000倍	前日/2回	◎	◎	0	◎	◎	0
カネマイトフロアブル	1000~1500倍	前日/1回	◎	◎	0	◎	◎	0
ダニトロンフロアブル	1000~2000倍	前日/1回	-	◎	-	-	-	-
バロックフロアブル	2000倍	前日/1回	×	◎	-	×	◎	-
サンクリスタル乳剤	300~600倍	前日/ -	-	○	0	○	○	-
粘着くん液剤	100倍	前日/ -	◎	-	*	◎	-	*

注) 卵：卵に、成：成虫に対する影響。

残：その農薬が天敵に対して影響のなくなるまでの期間で単位は日数。

天敵に対する影響は◎：死亡率0~25%、○：25~50%、△：50~75%、×：75~100%、-：試験データなし  
表中の影響の程度及び残効期間は目安であり、気象条件により変化する。

\*は薬剤乾燥後に天敵を導入する場合には影響がないが、天敵が存在する場合には影響がでる恐れがある。

天敵に対する影響は日本バイオロジカルコントロール協議会の「バイオコントロール2012 VOL16 No.1」から引用。

5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室  
電話：0561-62-0085（内線471）